

令和7年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(三浦地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	新しい施設について	新しい施設の建設が今後検討されているが、それらの維持費はどの位でどこから捻出されるのか。正確な情報を出して、住民投票等で住民の意見を聞いて判断すべきではないのか。	①新しい体育文化施設については、建物の建設費用は概算で算出することは可能だが、今後詳細な実施設計を行うことなしには、規模が決まらないため、ランニングコストについて現段階でお話しすることは難しい状況です。建設後のランニングコストは毎年の一般会計から支出しておくこととなります。住民投票に関しては市議会で判断いただく形になります。 ②ランニングコストは、大きくは皆様に納めていただく税金と利用者負担していただく使用料から賄われています。今後、同様の施設のランニングコストについて調査を行い、検討したいと考えております。	①市長 ②財政部長	財政課	①市長回答のとおり ②財政部長回答のとおり
2	文化施設の整備について	新しい文化施設の整備に伴って、さくらホールは取り壊されるのか。また、新しい文化施設の収容人員、駐車場の台数について教えてほしい。	新たな文化ホールの建設に伴って、さくらホールを取り壊す予定はございません。ホールの規模については、概算で1,000席を考えております。駐車場については、文化施設だけで324台を考えております。体育施設の台数は別に確保していますが、今年度から来年度にかけて交通量調査を行い、駐車場の台数について決めていきたいと思っております。	総務部長	新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
3	おむすび、ゆでびについて	ゆでびの利用率について教えていただきたい。 ゆでびのお得なキャンペーンについて、市の財政から支出されるのであればアプリの利用者だけではなく、市民が平等に恩恵を受けられるようにすべきではないか。	①おむすびのダウンロード（DL）数は7,755件、ゆでびのDL数は18,561件となります。ゆでびは、人口の約20%の方にDLしていただいております。ポイント還元については、ゆでびを活用することでいち早く皆様にお届けできることと、印刷費等の経費削減が出来ます。 ②ポイント還元の財源については、国からの交付金を活用して今回の事業を実施しております。	①企画政策部長 ②財政部長	デジタル推進課	財政部長・企画政策部長回答のとおり
4	ボートレース大村の売り上げについて	ボートレース大村の売上が5年連続日本一になったが、その要因と特別な取組を行っているのか。	①様々な取組を行っていますが、要因の一つにはミッドナイトレースの開催があります。 ②全国24場のうち売上上位7場までは、ナイターレース場が占めています。大村は、このナイターレースよりもさらに遅い時間のミッドナイトレースを導入しており、年間60日程度開催しています。また購入方法はインターネット売上が8割以上を占めており、全国のファンを増やすための様々な取組をしています。そして毎年SG等の大きいレースを招致できていることも挙げられます。今年度は全レースの中で2番目に売上が見込めるクイーンズクライマックスの開催を予定しており、来年度は業界最大のレースグランプリの開催が決定しており、連続日本一を目指し取組を進めていきます。	①ボートレース企業局次長 ②市長	ボートレース企業局	回答の修正有
5	ボートレース大村の経営について	運営について民間が参入したから経営状況が良くなったと聞いたが本当か。	大村市長が設置者であり、ボートレース企業局管理者が社長の立場で民間は入っていません。ボート事業は企業会計で市のお財布（一般会計）とは別のものであり、独自に経営を行っています。大村市の場外発売場は九州内に16箇所あり、市直営で経営を行っているもの、民間事業者が行っているものがあります。	市長	ボートレース企業局	回答の修正有
6	小学校のプールについて	三浦小学校のプールの埋立について、進捗状況や日程を教えてください。	今年度は解体に向けた設計業務を行っており、実際の解体は来年度（R8）に行います。来年の動作まつり（10月末）時点では舗装は間に合わなくても（解体）資材は搬出して、その場所は使えるようにしたいと考えております。	教育次長	教育総務課	教育次長の回答のとおり
7	乗合タクシーについて	乗合タクシーについて、多くの方が利用をしている。しかし、医療センターまでで、この区間を市中央部の大村駅付近までの延長を検討してもらいたい。県営バスは本数を減らしており、日中の便が少ない。	乗合タクシーは、公共交通機関がない交通空白地に国への申請許可の後、設置を行っております。医療センターから先の区間については、路線バスがかなりの本数があり（乗合タクシーが）走れない状況のため、路線バスや一般のタクシー等への乗り継ぎをお願いいたします。 また市では75歳以上の免許をお持ちでない方に対し、交通費の支援をするよう手続きを進めています。75歳以上の方に申請書類は送られてきていると思いますので、免許をお持ちでない方は申請いただければ10月以降に交通カード（バス・タクシー・JR対応）を配布できますので、活用していただければと思います。	商工観光部長	交通政策室	商工観光部長回答のとおり

令和7年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(三浦地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
8	道路について	市道溝陸4号線の道路冠水について、R6地区要望で道路のかさ上げを要望した。現在の進捗状況について、教えてもらいたい。	昨年度全市的に、雨水整備ができていない区域が大雨でどのように内水氾濫が発生するかシュミレーションを行いました。今年度は調査結果を元に重要度を判定しどのようなスケジュールで取組むか計画を策定します。市道溝陸4号線の該当箇所については降雨時に浸水しやすいという結果が出ていますので、実施可能な方法の検討を進めたいと考えています。道路のかさ上げも一つの方法ですので、それも含めて検討したいと思います。	上下水道局次長	下水道工務課	上下水道局次長回答のとおり
9	道路について	県道大村貝津線の道路冠水及びさつき台町内の一部冠水について、R6年度地区別ミーティングで提案を行ったが、その後の進捗状況を教えてもらいたい。また、満潮と大潮が重なった際に度々冠水が発生する場所があるので、区域全体を対象とした雨水幹線の排水対策を検討してもらいたい。	①先ほど説明した昨年度の調査結果では、大雨による浸水は、発生しにくいという結果が出ています。下水道事業は大雨による浸水対策が主になりますので、高潮対策については関係機関に相談を始めております。樋門の設置も頭において検討していきたいと思えます。 ②高潮対策や雨水対策についてはこれまで国の補助金を財源として活用していましたが、ここ最近、国においても複数の事業を重ね合わせてコストダウンや効率化を図る取組が進められていますので、国の動向も見ながら検討したいと思えます。	①上下水道局次長 ②上下水道局管理者	下水道工務課	①上下水道局次長回答のとおり ②上下水道局管理者回答のとおり
10	水道インフラについて	市内において水道管の経年劣化が進んでいると思う。一ヶ月で漏水がどれくらいあり、市内に埋設管が何km位存在するのか教えてほしい。三浦鈴田地区に何本くらい地下水を掘ってあるのか。また、今後の水不足を想定してボーリングを行う計画があるのか、物価高騰等もあり今後水道料金の値上げをする計画はあるのか教えてもらいたい。	①水道管はかなりの数が老朽化していますので、いかに効率的に更新していくかが課題です。水道事業の財源は皆様にお支払いいただく使用料で独立採算制が基本です。しかしながら今年度から上下水道で一体化した計画で取組む場合には水道にも国からの補助金が交付される制度が変わりつつあります。このような制度を最大限活用していきたいと考えています。 本市においては令和5年度に値上げを懇話会に諮りましたが、結果として必要性は認められながらもコロナの影響もあり（値上げを）見送られました。現在特に水道事業においては厳しい財政状況ですが、使用料の値上げについてはいずれはお願いしなければならないと考えています。ただ、値上げをするにしてもできるだけ小幅に抑えられるように、国補助金等活用できるものは全て活用し、コスト削減した上で考えたいと思えます。 ②水道管は、市全体で679kmあり、年間350件程度の漏水があります。9割が個人宅への引き込みの部分で発生しており、その修繕は市で行っています。三浦は日岳に水源が1箇所あり、市街地にリンクして融通しながら使用しています。	①上下水道局管理者 ②上下水道局次長	水道工務課 業務課	①上下水道局管理者回答のとおり ②上下水道局次長回答のとおり
11	ゆでびの活用について	ゆでびの活用方法について、通いの場等の福祉行事のほか、もっとイベント参加に対してポイント還元を行ってはどうか。	関係部署とも連携しながら、検討をしていきたいと思えます。	企画政策部長	デジタル推進課	企画政策部長回答のとおり
12	横断歩道の安全確保について	県道から市道に入る所の溝陸バス停の横断歩道において、交通量が多く車がなかなか止まってくれない。信号機の設置が難しければ、黄色の旗だけでも設置をお願いしたい。	以前、警察等と現地立会を行っており、距離があまり離れていないため、県道の所の横断歩道を渡ってバス停に向かっていただければと回答しているところです。	総務部長	安全対策課	黄色の旗の設置については、道路占用許可が必要であることから道路管理者に確認したところ、「長期的な設置は許可していません。」との回答でした。横断歩道を渡る前には、手を挙げて渡る意思を運転者に伝え車両が停止してから横断歩道を渡るよう、学校でも指導していただくようお願いしました。
13	横断歩道の設置について	子供達が狭い幅の路側帯を歩行しており危険なため、バス停の所に横断歩道の設置を要望していたところ、警察としては県道の所の横断歩道から距離が離れていないということと、横断需要が少ないとの理由で設置できないとの回答だった。どうにかできないか。	これまで何度も関係機関と協議を行ってしています。警察によると、日大高校方面からのトンネルを抜けカーブを経てすぐの交差点になり、危険を伴うため信号機や横断歩道の設置は難しいとの回答でした。現状でカラー舗装による注意喚起はしていますが、警察や県央振興局と協議をしたいと思えます。	市長	安全対策課	市長回答のとおり